

民衆の声
ボイス

No.97

VOICEよこはま

公明党 横浜市会ニュース

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

令和3年 第2回定例会報告

コロナ感染症対策 ワクチン接種の対策をリード!

横浜市会第2回定例会では、一般議案と合わせて146億円を計上した6度目となるコロナ感染症対策の補正予算案を審議しました。ワクチン接種対策の強化・感染症対策の充実と合わせ、困窮する子育て世帯に対する支援、飲食事業者への支援を決定しました。これには、4月26日及び5月21日に公明党横浜市会議員団が実施した、市長への緊急要望の内容が大きく反映されています。

《主な施策》 ※一部推進中

■低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金の給付（詳細は別掲）

■ワクチン接種体制の強化

- コールセンターの体制強化[ブース(回線)の増設等]
- 市民に身近な病院、診療所での接種が円滑に行われるよう関係機関と連携
- 個別接種を行う医療機関への協力金の支給
- 事前の情報提供充実や接種会場での円滑接種など障がい者への配慮
- 往診接種など接種会場に行くことが困難な移動に不自由な方への配慮(推進中)
- 集団接種会場とそれに伴う従事者の確保
- 訪問介護、小規模多機能などの介護関係者への早期の接種開始(推進中)
- ワクチン配送センターの設置で円滑な供給体制を確立 など

■変異株スクリーニング検査を強化

■自宅療養者への見守り支援を強化

■障害者施設内でのクラスター対策として施設職員への定期的なPCR検を実施

■障害・福祉サービスの継続へ事業者への指導・活動支援を強化

■事業継続のための融資を受ける飲食事業者に3万円の一時金を給付



コロナワクチン接種を着実に推進

■高齢者(65歳以上)の90%以上が接種予約を完了

7月末までの接種完了を目指し、集団接種会場・大規模接種会場に加え、市内約1,500の医療機関にご協力頂き、接種を進めています。

■64歳以下の皆さまへの接種券を発送中

職場や大学などで接種を受ける際に、個別通知に同封の接種券と予診票を使用できます。

- ・7月5日(月)から優先接種者(基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者)の接種予約を開始します。
- ・それ以外の方へは、8月以降にあらためて接種時期や予約に関する通知を送付します。

※主婦やお勤めの方に便利な、集団接種会場や接種時間帯の検討を行っています。



個別通知(接種券)発送スケジュール

60～64歳	6月23日(水)
50～59歳	6月30日(水)
40～49歳	7月7日(水)
30～39歳	7月13日(火)
20～29歳	7月19日(月)
12～19歳	7月26日(月)

女性の生きづらさ解消を支援

「生理の貧困」問題、市内で無料配布を実現!

5月の市会本会議において、公明党より「女性が抱えている問題を社会で共有し理解を進めることが重要である」と主張し、横浜市と調整した結果、以下の支援が実現します。

1. 防災備蓄品の有効活用
2. 企業との協働で無料提供システムの導入

横浜市役所、アートフォーラムあざみ野、横浜市立大学に「生理用ナプキン無料提供サービス **OiTr** (オイテル)」を導入します。



3. 市立小中学校でも

児童生徒の家庭状況や身体の成長の把握につながられるよう、養護教諭を中心に丁寧に対応します。

「低所得のひとり親世帯に対する給付金」に続き、その他の子育て世帯も対象とした「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の給付は大変重要な施策であり、我が党もその実現に向けて強力に推進してきました。コロナ禍で収入が減少し、困窮しているのはひとり親世帯に限らないことから、今回、低所得のふたり親の子育て世帯も含めて、児童一人あたり5万円の給付を行うことになりました。ふたり親世帯への給付は、6月末から開始されますが、厳しいコロナ禍にあつて、一日でも早くお届けできるように、迅速な対応も要望しています。



低所得の子育て世帯に対する支援強化 児童一人あたり5万円の特別給付金を給付

横浜の中学校給食がスタート! (献立重視で給食時間も確保)



● 給食の一例 ●

選択制デリバリー方式の横浜型給食は、当日注文やカード払いも可能で、生徒の声をメニュー化するなど、他都市にない新しいスタイルの給食となりました。献立作成や衛生管理なども横浜市が直接行い、地場産食材の活用などで国産比率を高めました。育ち盛りの子ども達のために、食育と栄養面に優れ、安心・安全で質の高い給食が提供されます。



市立老松中学校を視察

公明党横浜市議団で市立老松中学校を訪問し、中学校給食の取組を視察。同校では1年生2年生の約6割が給食を利用しており、十分な給食時間も確保されています。学校給食法に則って提供する事により「ハマ弁」より1食当たり10円安い上に、市の栄養管理士による献立重視で食育にも力を入れています。前年に比べて利用登録者も1.65倍(市立中学校に通う生徒全体の63%)で順調なスタートです。

《中学校給食実現に向けた、公明党市議団の歩み》

H3 (1991)	中学校給食の実施検討を開始 パン・牛乳自動販売機の構内への設置などを提案・実現
H10 (1998)	スクールランチの導入を市会で初めて提唱 全校保護者・生徒へのアンケート調査、モデル校での試行実施などを提案・実現
H29 1月 (2017)	ハマ弁を全市立中学校でスタート 財源、用地確保の課題から唯一全校で実施可能な「デリバリー型弁当形式」を採用
H30 4月 (2018)	カード払いを可能に、注文アプリの導入、や当日注文の導入、昼食時間の延長など利用しやすく改善
R3 4月 (2021)	横浜市で中学校給食がスタート! 学校給食法上の給食に位置付ける事により、食材費が増額され、市の管理で品質がより充実

※牛乳・牛乳のフルセットで

470円

↓

340円に大幅値下げ

↓

330円にさらに値下げ

現場の声から施策の充実へ 各種団体との政策懇談会を開催

6月14日から22日まで、市内44団体と公明党横浜市議団による毎年恒例の政策懇談会を開催しました。昨年はコロナ禍のため書面での開催でしたが、今年は感染対策を施しながら対面で実施し、アフターコロナも見据えて各種政策を充実したものとすべく活発な意見交換を行いました。



懇談会の内容を2022年度の予算策定に結び付けられるよう、しっかりと推進していきます。

社会と心のバリアフリー推進 バリアフリーマップアプリの開発

4月2日、WheelLog代表の織田友里子さんを迎えて、公明党横浜市議団の勉強会を開催しました。『車いすでもあきらめない社会をつくる〜みんなで作るバリアフリーマップ〜』と題して講演があり、啓発イベントの開催やバリアフリーマップの開発などの活動実績を伺うとともに、今後の展望について意見交換しました。



社会と心のバリアフリー推進へ、連携を深めていきます。

2021年5月 横浜市公明党、新しい構成により議会がスタート

 <p>仁田 昌寿 (南区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 大都市行政制度特別委員会 副委員長</p>	 <p>安西 英俊 (港南区) ● 市民・文化観光・消防委員会 ● デジタル化推進特別委員会</p>	 <p>中島 光徳 (塚区) ● ことば・青少年・教育委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 市会連帯委員会副委員長</p>	 <p>行田 朝仁 (青葉区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 新たな都市活力推進特別委員会</p>	 <p>望月 康弘 (港北区) ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 減災対策推進特別委員会 ● 神奈川県内広域水道企業団議会議員</p>	 <p>斉藤 伸一 (保土ヶ谷区) ● 健康福祉・医療委員会副委員長 ● 大都市行政制度特別委員会</p>	 <p>竹内 康洋 (神奈川区) ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 基地対策特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員</p>	 <p>高橋 正治 (緑区) ● 健康福祉・医療委員会 ● 郊外部再生・活性化特別委員会</p>
 <p>久保 和弘 (瀬谷区) ● 水道・交通委員会 ● 新たな都市活力推進特別委員会</p>	 <p>木内 秀一 (旭区) ● 国際・経済・港湾委員会 ● デジタル化推進特別委員会 ● 市会連帯委員会 議会広報会議</p>	 <p>竹野内 猛 (金沢区) ● 政策・総務・財政委員会 ● デジタル化推進特別委員会 副委員長 市会連帯委員会理事</p>	 <p>尾崎 太 (鶴見区) ● 水道・交通委員会 ● 減災対策推進特別委員会副委員長</p>	 <p>斎藤 真二 (都筑区) ● ことば・青少年・教育委員会委員長 ● 大都市行政制度特別委員会</p>	 <p>福島 直子 (中区) ● 政策・総務・財政委員会副委員長 ● 基地対策特別委員会</p>	 <p>源波 正保 (泉区) ● 国際・経済・港湾委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会副委員長</p>	 <p>加藤 広人 (磯子区) ● 建築・都市整備・道路委員会 副委員長 ● 郊外部再生・活性化特別委員会</p>

上大岡に「マイナンバーカード特設センター」がオープン

～新規交付を行う拠点として市内3か所目～

6月29日(火)に、「マイナンバーカード特設センター」が上大岡(ミオカ リスト館2階)に設置されました。

同センターでは、平日夜間や土日祝日もマイナンバーカードの新規交付が行われています。開所時間は平日が11:30～19:30(受付は19:15まで)、土日祝日は9:00～17:00(受付は16:45まで)。水・木曜日、第三土曜日の翌日曜日と年末年始(12/29～1/3)は休所となります。

南区、港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区に居住している交付通知書をお持ちの方が交付対象です。また、居住区の区役所でもカードの受け取りが可能です。

予約は、横浜市ウェブサイトや専用ダイヤル(0120-321-590)からできます。

国からは、「令和4年度中に、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有する」との方針が示されており、そのために横浜市では毎月10万件以上の交付体制を整えカード交付の促進を図る必要があります。

仁田まさとし市議は昨年度所属した市民・文化観光・消防委員会で、マイナンバーカードの新規交付が円滑に進むよう、区役所の体制強化や交付拠点の設置を要望してきました。



公明党横浜市議員団
南区政務調査事務所 所長
横浜市議員

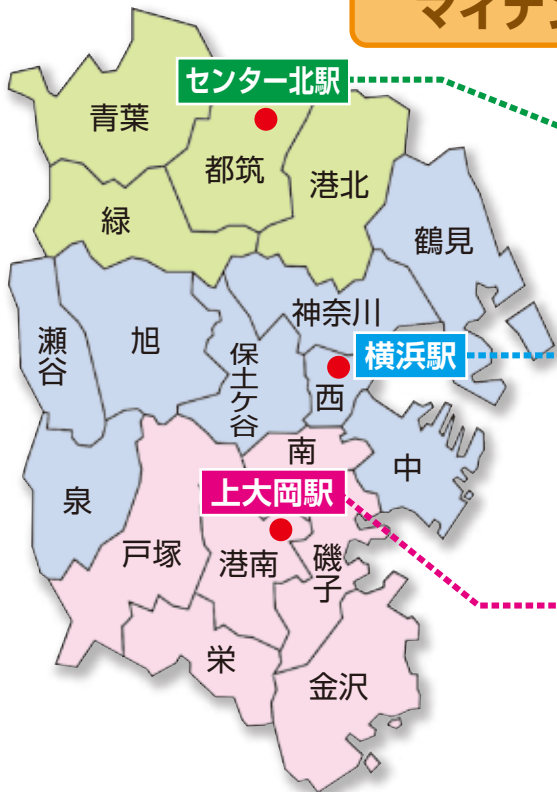
仁田まさとし



仁田まさとし 検索
←メルマガの登録はこちらへ



マイナンバーカード特設センター



<p>センター北 マイナンバーカード特設センター 《最寄駅:センター北駅》</p>	<p>対象区 港北区、緑区、青葉区、都筑区</p> <p>開設場所 都筑区中川中央 1-30-1 プレミアムヨコハマ4階 (駅から徒歩1分)</p>
<p>横浜駅西口 マイナンバーカード特設センター 《最寄駅:横浜駅》</p>	<p>対象区 鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区、旭区、泉区、瀬谷区</p> <p>開設場所 西区北幸 1-6-1 横浜ファーストビル15階 (駅から徒歩3分)</p>
<p>上大岡 マイナンバーカード特設センター 《最寄駅:上大岡駅》</p>	<p>対象区 南区、港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区</p> <p>開設場所 港南区上大岡西 1-18-3 ミオカリスト館2階 (駅から徒歩3分)</p>



横浜市コールセンター ～便利な暮らしの情報ガイド～

各種手続き、施設、イベントなどの市政、生活情報など「知りたい・聞きたい」に答えます。

Tel. **045-664-2525** Fax. **045-664-2828**

●時間/8:00～21:00(土・日・祝日を含む毎日) ●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp

急な病気やけがで、救急車を呼ぶか、医療機関を受診するか迷ったら…

●電話で相談●
#7119

または、045-232-7119
年中無休/24時間対応

★Webで判断★
救急受診ガイド



横浜市救急受診ガイド 検索